

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A 環境面

利用定員から見たスペースとしては広くないと感じている。人員配置は、適切であるという評価はない。

意見：男性の排泄介助をするスタッフ数が少ない。

B 児童への支援内容

支援の提供については、プログラムをチームで検討・立案する等意識が高く、適切な支援を心がけている。

C 関係機関との連携

学校や家族との連携は評価が高い。特に学校は、年々取れるようになってきている。今後は、療育センターや相談支援専門員との連携が課題である。

D 保護者への説明責任・信頼関係

保護者の方からの子育ての悩みは、「どちらともいえない」が8割以上だった。これは、相談自体がほとんどないため、評価に迷った。

相談については、説明、周知は書面や口頭で行っている。さらに、懇親会を実施し意見交換の場を設定する事で、日頃の思いを聴く機会を作るよう心掛けている。

E 非常対応

緊急時の対応については、フォーマットを作成し、保護者の方に必要な情報を記載してもらいまとめている。

マニュアルは作成しているが、マニュアルそのものをご家族へ渡している訳でないため、評価が分かれた。

保護者による評価

A 環境面

スペース・人員配置・専門性・事業所の設備は約7割の方から評価をいただいている。

ご意見 活動のスペースが少し狭いように思う。

他市に比べて充分すぎる程。

B 児童への支援内容

客観的な分析におけるサービス計画の作成・プログラムの工夫は、約7割の方から評価をいただいている。

C 事業所からの情報発信

支援内容・利用者負担等の説明・保護者との共通理解・保護者会等の開催・苦情の対応・利用者や保護者へ情報伝達への配慮等は、約8割の方から評価をいただいている。

D 非常対応

緊急時・防犯・感染症等の対応マニュアルの説明や周知・定期的な避難訓練の実施は、5割の方から評価をいただいている。約3割の方が、どちらともいえないと評価されている。

E その他

ご意見 支援に満足はしているが、怪我をした時の対応には不満が残ります。発病した時の想定はあるが、怪我の想定がなく対応が遅くマニュアルも無いように思います。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 子供たちの育ちを第一に考え、楽しく参加できるプログラム作りを意識し企画・実施している。
- 重心の方を受け入れている事から、安全への意識を高く持っている。
利用当日の受け入れ基準を設けている他、体調の変化に気を配り、体調不良での利用は未然に防ぐよう努力している。

事業所の改善点

保護者への情報

事業所の取り組みについて、事業所の意図と保護者の方の捉え方が一致しない事があるため、保護者に分かりやすく伝える手段を検討する。

事業所の改善への取り組み

営業していく中で出てくる課題について、懇談会等保護者との意見交換の場を設ける。その中で解決策を協議して決定し、その内容を改めて書面で周知する事で保護者の方に分かりやすく確実に伝えられるようにします。